

# 「母の日」 農林水産省統計部

5月の第2日曜日は『母の日』。お母さんの愛情に感謝、感謝の日です。

『母の日』は、世界の文化として定着していますが、その記念日は国によってそれぞれです。

日本の母の日は、1908年5月10日、アメリカで起こった一回目の母の日は5月の第2日曜日であったことに由来しています。

## ● オランダセキチク ●

日本での起こりは、大正2年(1913)頃とされていますが、5月の第2日曜日として母の日は定着したのは昭和22年(1947)です。

また、シンボルになっているカーネーションの原産地は南欧から西アジアの地中海沿岸で、江戸時代にオランダから「アンジャベル」の名で日本に入り、「オランダ石竹」などと呼ばれていました。



## ● 温もりの花 ●

オランダ石竹の和名は定着しなかったものの、現在はカーネーションの名で親しまれています。

カーネーションは現在、ハウス栽培などにより周年にわたって供給されていますが、平成20年の花き卸売市場の月別取扱数量をみると、母の日のある5月が目立って多く、次いで卒業式シーズンの3月となっています。

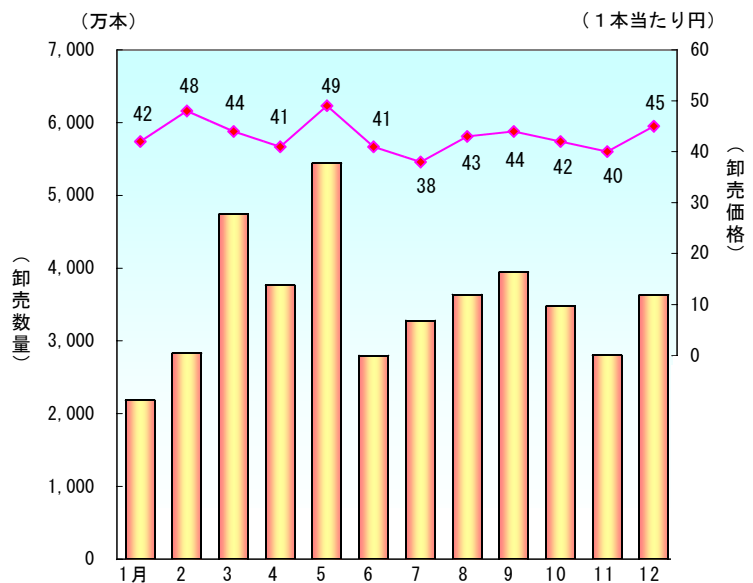
カーネーション(carnation)の語幹のcarnはラテン語で「肉」を表すところから、carnationは「肌色(淡紅色)」の意味を持つそうです。

最近では、定番の赤やピンクの他、青(紫)色が開発されるなど実に多彩ですが、お母さんの肌の温もり、そんな花であってほしいものです。

『母の日』は、照れずに「お母さん、ありがとう」って言葉にしてみませんか。

感謝の気持ちを伝えることが一番大切ですね。

平成20年のカーネーション(切り花類)の卸売数量、価格の月別推移



資料：農林水産省統計部「花き流通統計調査」結果

◆ 農林水産とうけい歳時記は本号をもって終刊となります。ご愛読ありがとうございました。  
 ◆ 5月22日(金)より、装いを新たに各種統計データや旬の食材から世の中をウオッチする「農林水産統計ウオッチ」を掲載します。どうぞお楽しみに。